



# 電力資源なくして福井の繁栄なし

綿田捨三元美浜町長、浜田倫三元高浜町長など先人が築き上げた原発産業

文責：嵯峨 十郎

## 長期成長戦略

国にぶら下がり、江戸へ、江戸への陳情も、目的を果たさなければ意味がない。

県市町が連携し県内を6つのゾーンに分け、海外、国内の民間投資資金と有能な人材を独自に県内へ呼び込める成長戦略と長期計画が必要。

例えば、坂井は農業とブランド力のある完成品製造業、観光。奥越は林業と水資源産業、観光。福井は商業と最先端技術工業、国際交流。丹南は中京・関西工業圏の大手メーカー二次、三次産業の製造業集積地。敦賀は豊富な電力資源をもとに中国、ロシア、韓国、東南アジアとの輸出入の海上玄関口として敦賀港を日本海最大の物流の拠点化。若狭はクリーンエネルギー電力供給地、通年型の宿泊できる大型リゾート観光、日本海漁業資源生産拠点地。

少子高齢化が進む中で先が見える色々な施策がないと地方は崩壊する。いつまでも同じ9市8町が農業、教育、福祉、原発、新幹線、新規道路建設など横並びが慣例化した市、町長と議員が毎回同じ課題を議論しては地域間競争に乗り遅れ、資本と人口の流出は続く。

## 先に見える政治力

過去の流れを引きずり、政治家は資金なしの東京におねだり、事なかれ主義の政治をする行政マン西川一誠・東村新一氏は副知事、副市長がお似合いかも。右肩上がりの経済成長が期待できず税収はじ

り貧の日本経済。将来に向けて何が何でも富山、石川県並みに人口100万人へとか、どこにも負けない活力ある経済を目指すなどの大胆な成長戦略が必要だ。

p 10~15 にわたる特集  
県内 勝木書店にて発売中